

中小企業信用保険法第 2 条第 5 項第 7 号の規定による認定申請書

平成 年 月 日

吉田町長 田村 典彦 様

住 所
氏 名 印
(名称及び代表者の氏名)
電話番号

私は.....が経営の相当程度の合理化に伴う金融取引の調整を行っていることにより、下記のとおり、借入れの減少が生じ、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第 2 条第 5 項第 7 号の規定に基づき認定されるようお願いいたします。

記

1 金融機関からの総借入金残高のうち、.....からの借入金残高の占める割合
% (A/B)

A 年 月 日の.....からの借入金残高 円
B 年 月 日の金融機関からの総借入金残高 円

2からの借入金残高の減少率 % ((D-C)/D × 100)

C 年 月 日の.....からの借入金残高 円
D 年 月 日 (Cの前年同期を記入のこと) の.....からの借入金残高 円

3 金融機関からの総借入金残高の減少率 % ((F-E)/F × 100)

E 年 月 日の金融機関からの総借入金残高 円
F 年 月 日 (Eの前年同期を記入のこと) の金融機関からの総借入金残高 円

(注 1)には、経済産業大臣が指定する金融取引の調整を行っている金融機関の名称を記入すること。

(注 2) 申請者の全ての金融機関からの総借入金残高及び.....からの借入金残高が確認可能な残高証明書、財務諸表、借入証書等を添付すること。

(留意事項)

- ① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
- ② 町長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

吉 産 第 号
平成 年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間：平成 年 月 日から平成 年 月 日まで

認定者名 吉田町長 田村 典彦

町への提出日

中小企業信用保険法第2条第5項第7号の規定による認定申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

吉田町長 田村 典彦 様

法人の場合は「代表取締役印」、個人事業主の場合は「代表者の実印」を押印

指定金融機関名を記入
(複数ある場合はすべて)

氏名
(名称及び代表者の氏名)
電話番号

私は 〇〇〇〇〇〇 が経営の相当程度の合理化に伴う金融取引の調整を行っていることにより、下記のとおり、借入れの減少が生じ、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第7号の規定に基づき認定されるようお願いいたします。

A及びBの数値については、基本的に直近の残高証明書から記入するが、前年同期の残高証明書から記入しても差し支えない

記
金残高のうち、 〇〇〇〇〇〇 からの借入金残高の占める割合
47.61% (A/B)

A a年b月c日の 〇〇〇〇〇〇 からの借入金残高 1,000,000円
B a年b月c日の金融機関からの総借入金残高 2,100,000円

2 〇〇〇〇〇〇 からの借入金残高の減少率 50.00% ((D-C)/D×100)

C a年b月c日の 〇〇〇〇〇〇 からの借入金残高 1,000,000円
a-1年b月c日(Cの前年同期を記入のこと)の 〇〇〇〇〇〇 からの借入金残高 2,000,000円

残高証明書の日付を記入

3 金融機関からの総借入金残高の減少率 40.00% ((F-E)/F×100)

E a年b月c日の金融機関からの総借入金残高 2,100,000円
F a-1年b月c日(Eの前年同期を記入のこと)の金融機関からの総借入金残高 3,500,000円

(注1) _____ には、経済産業大臣が指定する金融取引の調整を行っている金融機関の名称を記入すること。

(注2) 申請者の全ての金融機関からの総借入金残高及び _____ からの借入金残高が確認可能な残高証明書、財務諸表、借入証書等を添付すること。

(留意事項)

- ① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
- ② 町長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

町記入欄

吉産第 _____ 号
平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間：平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日から平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日まで

認定者名 吉田町長 田村 典彦